

整理番号	37002
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月24日
事業担当課	東総合事務所 地域福祉課

《基本情報》

事務事業名	市民提案型協働事業実施費(矢上普賢岳魅力向上事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	H2 参画と協働による持続可能なまちづくりを進めます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	市民が	参画と協働によるまちづくりに取り組んでいる。	
個別施策	H2-1 市民が主体的に参画するまちづくりを進めます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	市民が	自ら進んで、まちづくりに取り組んでいる。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	東長崎地区の矢上普賢岳は、古くから信仰の山であるとともに、遠くは島原半島・天草まで望める山頂からの景観を求め、地域の方々などから登山を楽しむ山として親しまれてきたが、現在、山頂付近は樹木の繁茂により景観を楽しむことができなくなっており、入山者が減少傾向にある。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	地域住民とともに、樹木剪定等により、地域資源の再生による地域の魅力向上及び持続可能な伝承体制の構築に取り組むことで、矢上普賢岳を再度地域の象徴として確立させ、ひいては東長崎地区の活性化・振興につなげる。
課題(どういふことをする必要があるのでか)	山頂付近からの眺望を確保するための視点場の再生と、伝承体制の構築に必要な郷土愛の醸成
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	【事業期間】令和4年度 【総事業費】委託料: 999千円 【事業費内訳】視点場再生事業: 880千円 伝承事業: 119千円
--	--

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)	<b>【事業内容】</b> 1 視点場再生事業 (1)目標: 山頂付近(※)における視点場の再生 (2)内容: 山頂付近の樹木の剪定 ※今回剪定を実施する箇所は、山頂(10合目)ではなく、9合目の小規模広場 2 伝承事業 (1)目標: 矢上普賢岳の特徴を理解する (2)内容 ア 例大祭の時期に合わせた入山促進イベントの実施 (ア) デジタルスタンプラリー (イ) 再生した視点場のライトアップ イ 桜の植樹 ウ 飛び出す! 普賢さん! (矢上普賢岳の紹介マップ) 小学生を対象とし、地理・歴史の紹介や、景観情報を掲載 作成数: 500部 配布先: 管内小学校、放課後児童クラブ、地域のスポーツチーム、管内公 施設 エ まゆ爺とお普賢さん 地域と協働して制作する紙芝居 動画形式を採り、WEBページで発信 今回の事業の成り行きを簡潔にストーリー化したもの	<b>市民からの提案内容</b>				
	3 広報 (1) 広報ながさき掲載 (2) 報道機関への情報提供 (3) ホームページやSNS、市政番組による情報発信 ア ホームページ 東総合事務所地域福祉課・日見地域センター・東長崎地域センター・古賀地 市民センター イ SNS等 Facebook・Twitter・Instagram・Line・Youtube ウ 市政番組 長崎ケーブルメディアの情報番組「なんでんカフェ」の中で放送されている 政情報コーナー「市つくながさき」 (4) 地域自治会における周知活動(自治会回覧) (5) 各種広報誌への掲載 ア 地域センターだより イ 公民館だより ウ ふれあいセンターだより エ 社会福祉協議会発刊の広報誌 オ 地域企業発刊の広報誌	<b>市が協働する内容</b>				
業務量の増減	当該事業に必要な業務時間は、まちづくり支援業務の一部として充当する。					
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 本事業の提案団体をはじめ、実施に携わる関係団体等と企画から実施に至るまで、事業効果高められるよう協議を行いながら実施する。					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度～ 年度 )					
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	999			999	
	総額					
財源名称	長崎伝習所基金					
指標(単位)	市民が主体的に参画するまちづくりに興味関心を抱ききっかけになった人の割合(%)					
成果(活)	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	100				

動 指 標	成果指標及び 目標値の説明	本事業を通して、協働に対する理解が深まり、まちづくりへの参画の機運醸成が高まることで、持続可能な地域社会の実現に繋がるため、当該事業を実施する際に参加者対象のアンケートを実施し、まちづくりに対する意識の変化を確認するとともに、今後の事業展開の参考意見として活用する。
-------------	------------------	---

## 評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>提案型協働事業として東町侍石自治会からの提案を受けて実施するもので、昔から、島原半島・天草まで望める景観を求め、地域の方々から登山を楽しむ山として親しまれてきた矢上普賢岳について、現在は頂上付近の樹木の繁茂により景観を楽しめなくなり、入山者も減っているため、視点場の再生とともに、矢上普賢岳を地域の象徴として確立させ、東長崎地区の振興につなげようとするものである。</p> <p>地域住民の主体的な提案に基づき、地域の象徴を復活させ、地域の活性化につなげようとするものであり、事業の実施は適当である。</p>	